

森はめぐらしく生きている



日野町は山に囲まれ、多くの森林を有しています。町内では、いろいろな方や団体が、身近な山、森林、木を活用した取り組みをされています。自然豊かな環境の中で、森林の果たす役割とは…。今一度、森林の大切さを考えてみませんか？



①日野町森林組合による間伐材搬出作業
③小学校4～6年生（保護者同伴の場合、低学年も参加可能）を対象に木の皮むき作業などを体験する綿向生産森林組合の「山の子事業」。今年は8月17日（水）に開催予定。申し込みなど、詳しくは綿向生産森林組合 ☎ 0010まで。



②日野町林業研究グループと南比都佐小学校の学校林整備

山を管理することは、生き生きとした木を育て、土砂崩れなどの災害を防止し、山に人が入ることで獣害対策となります。また、地球温暖化防止にもつながっています。森林を守り、育て、その恵みを生かし、継続して循環させていくことが重要です。

町内でも、山の所有者の方や森林組合によって、山の管理が行われています。

しかし、昭和30年代後半、木材の自由化が行われたことで、安価な外国産の木材が売買されるようになつたため、昔に比べると山の手入れが進まなくなっています。

山を管理することは、生き生きとした木を育て、土砂崩れなどの災害を防止し、山に人が入ることで獣害対策となります。また、地球温暖化防止にもつながっています。

まちの森林

日野町には、6、200ヘクタールの森林があります。これは、町の面積の約2分の1を占めています。

町内にある山は、天然林と人工林から成り立っています。元々ある山は天然林で、人の手が加わらなくても自然淘汰によって、山が生きています。また、人工林は、スギやヒノキなどが植林されており、下刈りや間伐、枝打ちなど、人の手を加えていく必要があります。

日野町には、6、200ヘクタールの森林があります。これは、町の面積の約2分の1を占めています。

町内にある山は、天然林と人工林から成り立っています。元々ある山は天然林で、人の手が加わらなくても自然淘汰によって、山が生きています。また、人工林は、スギやヒノキなどが植林されており、下刈りや間伐、枝打ちなど、人の手を加えていく必要があります。

森林組合 生産森林組合とは

日野町森林組合では、個人で所有する山の整備を請け負い、草刈り、伐採、松喰い虫防除など、さまざまな作業を行う中で、町全体の森林整備をされています。

また、町には、綿向生産森林組合、三峯山南山生産森林組合、鎌掛生産森林組合、西明寺生産森林組合があり、それぞれの地域で所有・共有する山の管理（草刈り、間伐など）を行っています。このほか、菌山の入札など、山の資源を生かした事業も展開。綿向生産森林組合では、企業と連携して森林の整備を行う「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結するなど、新たな取り組みも進められています。

このように、町内では、それぞれの組合の特徴を生かした、次世代へとつなげるための山づくりが行われています。



▲日野町林業研究グループによるホンシャクナゲの挿し木講習。身近なペットボトルを使って、挿し木のコツを習得

木を大切に

日野町林業研究グループ（浦田和栄会長・会員20名）は、昭和41年頃から始まったシイタケ栽培、苗木生産、育林、盆栽の各分野での活動を統合し、昭和48年に発足しました。



▲「会員を募集しています」とグループの皆さん

会員自らが間伐や枝打ちなどを学び、現在、学校林や地域の自然林の整備に力を発揮されています。その技術は、長年の経験がある会員から経験の浅い会員へと受け継がれています。

また、小学生を対象とした森林学習会（クラフトづくりなど）も開催され、これから森林を支える人づくりにも取り組まれています。

また、小学生を対象とした森林学習会（クラフトづくりなど）も開催され、これから森林を支える人づくりにも取り組まれています。技術を次世代に継承し、地域や学校と連携した森づくりを行うことで、木の大切さを伝えられます。

安心安全の中で、森林を体感でき、

森林を生かして

自然の森を活用し、昆虫や野鳥、鹿など、動物たちと出会える「グリム冒険の森」。地域づくりと森林を守る空間づくりの両方を兼ね備えた施設です。

熊野の緑豊かな自然の中で、ウォーキングやマウンテンバイクなどを楽しむことができます。

また、間伐した枝や木の実などを使い、自然の恵みを生かした木工体験ができる「森の学校」や、一年を通して自然や森林について学ぶ特別企画「里山で学ぼう！」も行われています。

ご協力ありがとうございました

緑の募金



蓮花寺での植樹作業

今年の4月・5月の春期緑の募金活動期間に、日野町の皆さんから、**1,031,015円**のご協力をいただきました。

いただいた募金は、森林の整備および緑化の推進、各自治会での「生活環境の緑づくり」、「学校林づくり」などに活用されています。

日野町緑化推進委員会（農林課内）☎ 526563 有線⑤7773

間伐材の再利用など、森林の恵みを活用できる場所。「グリム冒険の森」は、最も身近な「森の学校」です。
◆グリム冒険の森 ☎ 530809
ホームページ <http://www.ex.biwane.jp/~grimm/>



- ①遊歩道「キコロード」で森林を楽しみながら、クイズラリー
- ②間伐材を使って木工体験ができる「森の学校」

